

令和 8 年 1 月 6 日
January 6, 2026

大学院学生各位
To All Graduate Students

令和 7 年度
基盤医学特論 開講通知
Information on Special Lecture (TOKURON) 2025

題目：PARP 阻害剤による複製停止の解除機構

Title: Tolerance mechanism of PARP-inhibitor-induced replication arrest

講師：茂木 章 先生

京都大学大学院医学研究科、助教

Teaching Staff: Dr. Akira Motegi, Assistant Professor
Kyoto University Graduate School of Medicine

日時：令和 8 年 2 月 9 日（月）16:00～17:30

Time & Date : 16:00～17:30, February 9th (Mon), 2026

場所：環境医学研究所北館セミナー室（東山キャンパス）

Room: N-201 (Seminar Room), North Building, Research Institute of Environmental Medicine
(Higashiyama Campus)

言語：日本語 Language: Japanese

{特論の概要}

複製ポリメラーゼの進行が阻害されると、「複製後修復」と呼ばれる仕組みが働く。代表的には、複製ポリメラーゼが紫外線による塩基損傷によって進行を阻害された場合に、複製ポリメラーゼに代わって損傷乗り越えに特化した特殊なポリメラーゼが損傷部位を乗り越えて複製を行うことで複製停止を解除する(translesion synthesis; TLS)。一方、複製ポリメラーゼが錆型鎖の鎖切断部位に至った場合は二本鎖切断に変換されることになり、相同組換え修復などによって二本鎖切断の修復を行う必要がある。しかし、鎖間架橋損傷や大きな付加物を伴う鎖切断などによって複製ポリメラーゼが損傷部位に到達できない場合は、複数の損傷修復システムによる「競合的な」修復や多段階からなる「複合的な」修復が必要になる。我々は関係する遺伝子の多重変異株を作成し、*BRCA1/2* に変異のあるがんでの有効性が期待されている PARP 阻害剤に着目して表現系解析を行うというアプローチを用いて、これらの複製停止の解除についての分子機序の解明を目指している。本講義では我々の最新の知見を紹介し、その意義や今後の展望について討議を行いたい。

関係講座・部門等の連絡担当者：環境医学研究所 ゲノム動態制御分野 増田雄司(内線 3871)
(鶴舞・大幸地区からは、85-3871)

Contact: Yuji Masuda, Dept. of Genome Dynamics, Research Institute of Environmental Medicine. Phone: ext. 3871 (or 85-3871 from Tsurumai & Daiko campuses)

[注意] 事前の申込みは不要です。

Notice: No registration required.

医学部学務課大学院掛
Student Affairs Division, School of Medicine